

# 全日本 語りネットワーク ニュース

全日本語りネットワーク

〒376-0006 群馬県桐生市新宿 1-4-33

Tel/Fax 0277-43-8140 振替 00130-2-114808

## 「希望を抱きつづける」ということ

末 吉 正 子 全日本語りネットワーク  
テラレーション事業部

E. B. ホワイト著「シャーロットのおくりもの」は私の好きなお話のひとつですが、その中に私の心をはげしくとらえたこんなシーンがあります。蜘蛛のシャーロットが友だちの豚のウィルバーを助ける方法を考えている時、彼女はこう言うのです。

「巢のいちばん高いところへ行って、頭を下にしてぶらさがると。わたしは、ああいうかっこうをしている時に、考えごとをするのよ。だって、ああしている時には、血が全部、頭にあつまるとはもの」

彼女は決してあきらめない。頭を下にしてぶらさがって、考えて、考えて、考える。私はあきらめないシャーロットが、懸命に考えるシャーロットが大好きです。

何かをしようと思ったときに、一生懸命そのことを思い続けていると、「ものすごい偶然」が重なって、「幸運な出会い」につながったりすることがありますよね。自分の周りに無意識のうちに、「願い」というスピリッツ粉を撒き散らしているのかもしれない???

「テラレーションを日本でもやらないかい？」とアメリカ人に励まされて、「イエス」と答えてしまったあの時から、10年の歳月が過ぎようとしています。そして1995年、テラレーション・ジャパンが始まり、以来、回を重ねて8回目。2002年11月ついに提唱者のJ. G. パウパウ・ピンカートン氏を日本のテラレーションにお招きすることができました。ピンカートン氏は柔和なお人柄そのままのパーソナルストーリーを語って、4ヶ所のテラレーションで、聞き手を楽しませてくれました。

2003年、年頭の夢は、語りの輪・環・和！

語りの理論はそれぞれ違って、語りを愛するという基本点に立ち、たがいの壁を越えてネットワーク作りをしていきましょう。今年も熱く語り合しましょう。

新年度を迎えます。年会費 2000 円を同封の振替用紙にてお納め下さい。